科目名	地域で暮らす人々への看護	対象学年・時期	２年次　前期
講師	専任教員	単位数・時間数	１単位　15時間
講義概要	ディプロマポリシー６に基づく。 現在、わが国は超高齢社会の進展をうけて、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう地域包括ケアシステムの構築が進んでいる。暮らしの視点を踏まえた看護を実践するには、看護の対象の捉え方を「病院で療養する人々」から「地域で暮らす人々」へと転換することが必要とされる。地域で暮らす人々は、その個人・家族の健康観、人生観、信念に沿って、法律、制度等の資源を用いて暮らしている。「地域で暮らす人」と「家族」「人を支える人々」のＱＯＬを支える看護を学ぶために、人の生涯を通して地域で暮らすための支えとなる法、制度、施策、環境づくりを知り、それらによって暮らしが成り立っていることを学ぶ。		
講義形態	事例を用いた演習		
学習目標	１．人が生涯を通し地域で暮らすことを支える法、制度、施策、環境について理解できる。		
学習内容 （授業計画）	事例の家族の様子からどのような法、制度、施策に支えられているか、どのような環境で生活しているか考えてみよう！ １回目　　生まれてから子供時代まで ２～３回目　　社会人になってから 健康の保持増進、妊娠・出産・育児 ４～５回目　　家族の入院と自宅退院に向けた調整 ６回目　　育児と介護の両立 ７回目　　まとめ　人の暮らしを支える支援		
使用テキスト	ナーシング・グラフィカ　看護をめぐる法と制度　　メディカ出版 ナーシング・グラフィカ　社会福祉と社会保障　　メディカ出版		
事前学習・ 事後学習 （学習を促進できる学修）	ワーク参加において、自己の地域の制度について調べるなど主体的に参加してください。事前学習・事後学習は適宜指示します。		
評価基準と 評価方法	筆記試験で評価する。		
備考			